

関係各機関の長

第7期科学技術・学術審議会測地学分科会
地震火山部会長 平田直

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」の実施機関の募集について

1. 募集機関：科学技術・学術審議会が平成25年11月8日に建議された「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画の推進について」

(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu6/toushin/attach/1341570.htm)の中で、取り組むべき「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」（以下、観測研究計画）について、参加する機関を募集します。

(参考：http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu6/siryu/attach/1355587.htm)

2. 応募の条件：機関（部局）としての参加であるため、研究者の異動等に影響されず、継続的（出来るだけ長期間の参加を推奨するが、最低でも平成30年度まで）に参加出来ることが応募の条件です。また、実施機関（部局）として、他の実施機関

(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu6/sonota/attach/1349357.htm)と共同研究を実施するなど連携して、責任を持って観測研究計画の課題に取り組み、毎年度末に1年間の成果を報告書にして提出して頂くことが応募の条件になります。

(参考：「地震及び火山噴火予知のための観測研究計画」平成25年度年次報告（機関別）
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu6/sonota/1349615.htm)

3. 応募資格：観測研究計画を実施する機関（部局）の長

4. 提出書類：

(1)観測研究計画に関連するこれまでの観測研究の成果リスト

(2)主要論文の別刷り3編程度（コピー可）

(3)観測研究業績の概要

(4)今後の観測研究計画（様式1に従う、実施する課題の数だけ提出してください。）

「現状の認識と長期的な方針」「本計画策定の基本的な考えと計画の概要」の趣旨に沿って、応募機関が実施する課題について提案して下さい。

(5)組織概要（継続した取組が可能か判断できる資料）

5. 選考について：提出された書類をもとに以下の条件に基づき、科学技術・学術審議会測地学分科会地震火山部会にて決定します。

6. 実施機関の条件

- (1)観測研究計画の趣旨に沿った計画となっていること
- (2)科学的な研究手法に基づいた計画となっていること
- (3)実施体制が整っていること

7. 募集締切：平成27年6月24日（水曜日） 必着

8. 問合せ先及び書類提出先：

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 中央合同庁舎7号館18階
文部科学省研究開発局地震・防災研究課 担当 重野
電話：03-5253-4111（代）（内線4434）
ファクシミリ：03-6734-4139
電子メール：jishinkazan@mext.go.jp

9. 応募書類の提出：提出方法は、郵送又は持参の上、電子データ形式でも提出してください。

○郵送の場合

- ・簡易書留、宅配便等で送付してください。
- ・提案書類は紙媒体及び電子データ形式で提出してください。

○持参の場合

- ・受付時間：平日10時～17時（12時～13時を除く）
- ・提案書類は紙媒体及び電子データ形式で提出してください。

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」実施計画案

(1) 実施機関名 :

(2) 研究課題 (または観測項目) 名 :

(3) 関連の深い建議の項目 :

建議の項目の中で、関連の深い項目をア・イのレベルまで書いて下さい。

関連の深い項目が複数ある場合には、全て記入して下さい。

建議の目次は、文部科学省の以下の URL にあります。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu6/toushin/attach/1341570.htm

例 : 1 (1) ア. 史料の収集とデータベース化

(4) その他関連する建議の項目 :

建議の項目の中で、(3) で示した項目以外に関連する項目があれば、ア・イのレベルまで書いて下さい。関連する項目が複数ある場合には、複数記入して下さい。

(5) 優先度の高い地震・火山噴火との関連

東北地方太平洋沖地震、南海トラフの巨大地震、首都直下地震、桜島火山噴火に関連した総合的研究の一部として進める場合には、その地震・火山噴火名を記入して下さい。

(6) 平成 26 年度までの関連する研究成果 (または観測実績) の概要 :

これまで実施してきた研究の中に、提案する課題に関連するものがあれば、その成果を簡潔に記述下さい。

ない場合は、「新規研究」と記述下さい。

(7) 本課題の 4 か年の到達目標 :

(8) 本課題の4か年計画の概要：

本課題の予算の事業名（運営費交付金、文部科学省委託研究〇〇プロジェクト、各省庁予算科目等）に関して、記述が可能なものは、記述して下さい。

例：本課題は、〇〇の事業に基づいた計画である。

5か年計画の具体的な実施計画の概要を記述して下さい。

可能であれば年度ごとの計画を記述して下さい。

例：平成27年度においては、……。

平成28年度においては、……。

(9) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

(実施機関の参加者氏名、または実施機関の部署等名を記述して下さい。)

他機関との共同研究の有無：

共同研究を予定している場合には相手方機関名、および相手方参加者名（参加者が多数の場合は代表者名と参加者数）を記述して下さい。

共同研究を予定していない場合は「無」と記述して下さい。

(10) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名：

電話：

e-mail：

URL：

本報告書をHPで公開したときに、掲載しても差し支えない連絡先を記載して下さい。

例：各機関の代表番号、各部署の代表番号、各部署のメールアドレス等

(11) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：

所属：

電話：

FAX：

e-mail：

この項目については、いたずら電話、スパムメール等の問題があるので、氏名と所属以外はHPでは公開しません。課題の担当者の方と直接連絡が取れる連絡先を記載して下さい。

※ 以上の内容を、A4用紙で2から3枚程度で本様式に従い書式を変更せずにMS明朝10.5ポイントを使って簡潔にまとめて下さい。その際に青字の部分は削除して下さい。